

科名	呼吸器外科	呼外-4
対象疾患名	非小細胞肺癌	
プロトコール名	CBDCA(day8)+GEM(day1, 8)	

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		
2	点滴注	側管	デキサート注 生食	6.6mg 50mL	30分かけて	↓				
3	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ デキサート注 又は	1mg 9.9mg	30分かけて			↓		
4	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ デキサート注	0.75mg 9.9mg	30分かけて			↓		
5	点滴注	側管	ゲムシタビン注 5%ブドウ糖	1000mg/m ² 100mL	30分かけて	↓		↓		
6	点滴注	側管	カルボプラチン 生食	AUC=5 250mL	30分かけて			↓		

★1クール＝21日

～MEMO～

- ・ 催吐レベル day1(10～30%)、day8(>90%)
- ・ イメンド併用(day8～)
- ・ カルボプラチン投与量＝AUC x (Ccr+25) mg/body

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
 - ・ 血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
 - ・ 毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
 - ・ 長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
 - ・ 点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
 - ・ メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。